

ホームホスピス®を**始めたい人**
ホームホスピス®を**学びたい人**

のための

ホームホスピスの学校

2023年6月(第5期)・10月(第6期)

お申し込みは、「全国ホームホスピス協会」ホームページから
<https://homehospice-jp.org>



A ホームホスピス「つくる」コース

● ホームホスピス®を開設したい人が受講する研修プログラム

理念やケアの哲学および運営や管理についての座学（オンライン講座）と1ヶ月程度の現場実習（ホームホスピスの現場で実際のケアに携わる）で構成されます。修了後は、協会のサポートを受けながら、ホームホスピスの開設を目指します。

B ホームホスピス「まなぶ」コース

● ホームホスピス®の理念やケア・看取りの哲学を学びたい人が受講する研修プログラム

理念やケアの哲学についての座学と数日間の現場実習（ホームホスピスの現場で実際のケアを体験する）で構成されます。修了後は、学びを活かし、各地・各分野で活躍していただきます。



ホームホスピス®は、全国ホームホスピス協会の登録商標(区分：第44類)です。

研修「ホームホスピスの学校」の概要

(HHはホームホスピスの略)

1 ▶ 研修の対象者

A HHつくるコース

ホームホスピス®を開設したいと考えている方が対象です。原則として、運営責任者（もしくは事務責任者）と現場のケアリーダーになる方を含むチーム（3名程度）で受講していただきます。ケアリーダーは実際のケアに従事するため、看護師または介護士の資格を持っていることが条件となります。（ケアリーダーの年齢は、原則65歳以下とします。）

B HHまなぶコース

ホームホスピスの理念に共感し、その哲学や民家であることの意義、ケアの考え方などを現在従事している仕事に活かしたいと考えている方が対象です。看護師、介護士の方は、ご希望によって、3日程度の実習を受けていただくことも可能です。

2 ▶ 研修プログラム

種別	分類	科目	期間・時間※
座学① (全員)	理念とケア	ホームホスピスの基本	120分
		ホームホスピスケアの哲学	120分
		ホームホスピスの環境1	90分
		ホームホスピスのケア1	90分
		ホームホスピスのケア2	90分
全員参加		ミーティング	120分
つくるコース		つくる準備講座	60分
		面接	30分
座学② (つくるコース)	運営	地域に開かれた運営	90分
		ホームホスピスの環境2	90分
		安全管理1(ケア)	90分
		安全管理2(防災)	90分
		仲間づくりと地域づくり	120分
		組織と持続可能な運営(労務)	90分
		組織と持続可能な運営(経営)	90分
事務研修 つくるコース (必須)		・スケジュール設定・法人設立・物件選定 ・助成金申請・労務管理・料金設定・契約 などについて(協会事務局が担当)	2時間 ～半日程度
実習① つくるコース (必須)		連続(法定休日を除く)した20日間の研修ができない場合は、必ず連続した5日間の研修を2回含むスケジュールで実施します。それ以外の10日間については、状況及び事情に応じた組合せを可能とします。	20日以上
実習② まなぶコース (任意)		基本的な構成として、1日目は、午前中にオリエンテーション、午後から実習。2日目は、終日実習。3日目は、午前中に実習、午後は振り返りなど。	3日程度

※ 科目の期間・時間については、内容により変更になる場合があります。

3 ▶ お申込み・審査

A HHつくるコース

B HHまなぶコース

ホームページから申請書類をダウンロード

書類に記入後、協会事務局に郵送(〒)

「つくるコース」は書類審査の結果、受講について連絡

受講開始

座学①の受講終了後に面接(*1)

座学②～実習・事務研修の受講

実習先からの報告書

修了証の授与

*1) 面接の結果によっては、次の課程に進めない場合もあります。

4 ▶ 研修の形態

各コース共通

座学は、基本的にZoomとGoogle Classroomを利用したオンライン講座です。事前にGoogleアカウント(Gmail)を取得していただく必要があります。実習は、実際に指定研修先のホームホスピスの現場に入って体験していただけます。研修先は、全国に13ヶ所ある認定ホームホスピス(4ページのマップ参照)となります。座学は科目ごと、実習は毎日、レポート(日報)を書いていただけます。また、研修期間中に、オンラインミーティングなどにより、研修生同士の交流を図る機会も設けます。

A HHつくるコース

ケアリーダーは、「座学①」「つくる準備講座」「座学②」の受講及び「実習①」の体験が必須となります。運営責任者(若しくは事務責任者)は、「座学①」「つくる準備講座」「座学②」及び「事務研修」の受講が必須となります。また、座学②の前に面接を受けていただけます。座学については、複数名(3名以内)での受講を推奨いたします。実習先については、ご希望により、個別相談の上決定します。また、受講生は、研修中または修了後1年以内に開催される、会員向け研修会「ホームホスピス実践者育成塾」(受講料は別途)にも必須研修として参加していただけます。

B HHまなぶコース

まなぶコースの受講者は、「座学①」の受講が必須となります。希望者は、「実習②」を追加選択することができます。実習先については、ご希望により、個別相談の上決定します。

研修料について

A HHつくるコース

座学① + 座学② + 実習① (20 日間の場合) = 205,000 円～

B HHまなぶコース

座学① + 実習②(*2) (3 日間の場合) = 43,000 円

※ HHつくるコースは、この他に、直近で開催される「ホームホスピス実践者育成塾」への参加(原則、運営者、ケアリーダー各1名)が必須となりますが、上記の料金にその参加費は含まれません(4ページを参照)。

*2) HHまなぶコースの実習については、希望者のみとなります。

【料金の内訳】

種別	料金(税込み)	備考
座学①	25,000 円 (*3)	「つくるコース」は(*3)を参照してください。2023年度全国大会の参加費を含みます。
座学②	60,000 円	事務研修費を含みます。
実習①②	6,000 円 / 日	①②共通単価

※ 受講開始時に座学①の料金を納入していただきます。

*3) HHつくるコースの受講者は、チーム参加の場合、リーダーの方が25,000円、他のメンバーの方は10,000円/人の追加料金となります。(3人で参加の場合、座学①の料金はチームで45,000円)

研修スケジュール(予定)

基本的に年2回の開校を計画しています。

※ 表中の実習の期間は、目安です。それぞれ事情等を考慮して個別に設定します。

6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月
A HHつくるコース			
開校式 座学① (M) 毎週2講座(1.5~2h)を約3週	準備講座 面接 座学② (M) 座学②は毎週1~2講座(1.5h~2h)を3~4週	事務研修 2時間~半日程度 ※ 事務研修の時期は個別に調整します。	実習① (つくるコース) 20日以上 ※ 実習①の時期と期間は個別に調整します。
B HHまなぶコース			
座学① (M)	修了	実習② 3日程度 ※ 実習②の時期と期間は個別に調整します。	報告書 修了



写真：全員参加ミーティング (オンライン)

研修者の声

福岡県福岡市
看護師 深川 美香 さん

【第2期「つくるコース」修了生】



10年前に、市原さんの講演を初めて聞いた時からホームホスピスの魅力に引き込まれ、ずっと自分の街に作りたと思っていました。しかし、子育てをしながら長期の研修を受けることは難しく、市原さんのアドバイスを受けて自分にできる事をしながら機会を待っていたところ、ホームホスピスの学校が開講されることを知り、飛びつくように仲間と一緒に受講しました。

座学では基本理念や運営について幅広く学び、実習では具体的なケアの実際を学ぶことができました。そして「やっぱりホームホスピスだ！」と思い強くしました。

これから開設に向けてさらに準備を進め、地域に看取りの文化を広げていけるよう、様々な活動も行なっていきたいと思っています。

研修者の声

大阪府豊中市
介護福祉士 岡 めぐみ さん

【第4期「まなぶコース」修了生】



受講のきっかけになったのは同じ職場の看護師さんが受講してとても勉強になったと仰っていて、私も是非受講したいと思ったからです。

「座学」ではホームホスピスの基本として少人数、居心地のいい空間、入居者様の思い(意思)やこれまでの人生など、一人ひとりに合った寄り添い方を考えて最期までともに暮らすこと、それを「ともぐらし」と表現されていました。すごく素敵な言葉だと思いました。運営されているのは看護師さんだったり介護士さんだったり、それぞれのホームホスピスでやり方は違います。

その人らしく人生の最期を迎えられる場所、ホームホスピスを運営されている方、従事されている方を心から尊敬します。

そして、私も微力ながらも関わっていければと思います。

修了後の活動について

A HHつくるコース

全国ホームホスピス協会の賛助会員として、協会のサポートを受けながらホームホスピス開設に向けて準備を行っていただきます。

【特記事項】

- 修了後は、賛助会員として登録していただく。
- 原則、修了後3年以内にホームホスピスを開設(※)する。
- ホームホスピス開設後は、団体正会員として登録していただく。
- 育成塾は会員料金で参加可能、また2023年度の全国大会は参加費無料。

(※) ホームホスピス®は、建物を含めた環境もホームホスピス®の基準を満たしている必要があります。そのような拠点整備のアドバイスも行います。

B HHまなぶコース

HHサポーター(賛助会員)として、介護や看護の現場でホームホスピスの理念(マインド)を持って活躍していただくと同時に、在宅看取りの普及にもその学びを生かしていただきます。

【特記事項】

- 育成塾は会員料金で参加可能、また2023年度の全国大会は参加費無料。
- 修了後は、賛助会員として登録していただく。



一般に日本のホスピス（緩和ケア）は、がんやエイズの末期にある人を対象としていますが、ホームホスピスは、がんに限らず、様々な病いや障害のために生きる困難に直面している人とその家族がケアの対象です。一軒の家（民家）に5～6人程度の方がともに暮らし、その住人を介護スタッフや地域の医療連携チームが支えるのがホームホスピスです。一人暮らしで家族のいない人も、ともに暮らし合う関係を築いていきます。そして、痛みやそのほかの身体的なケアだけでなく、生活者として人生の幕を閉じるまで、住まいを中心に医療、介護、生活支援が一体となったケアの体制を構築します。

全国ホームホスピス協会によるサポート

● 開設のサポート	● 運営のサポート
① ホームホスピスの学校	① 料金設定に関するアドバイス
② 法人設立のサポート	② 労務管理に関するアドバイス
③ 運営体制に関するアドバイス	③ 組織管理に関するアドバイス
④ 物件選びと改修のアドバイス	④ 認定に向けてのレビュー
⑤ 行政への申請に関するアドバイス	⑤ 各種研修(※)の実施
⑥ 助成金の申請のサポート	

※ 研修の種類

- ホームホスピス全国大会（年1回）
- ホームホスピス実践者育成塾（年1回）
- 支部研修会（各支部年1回）
- スキルアップ研修（必要時）



ホームホスピス実践者育成塾について

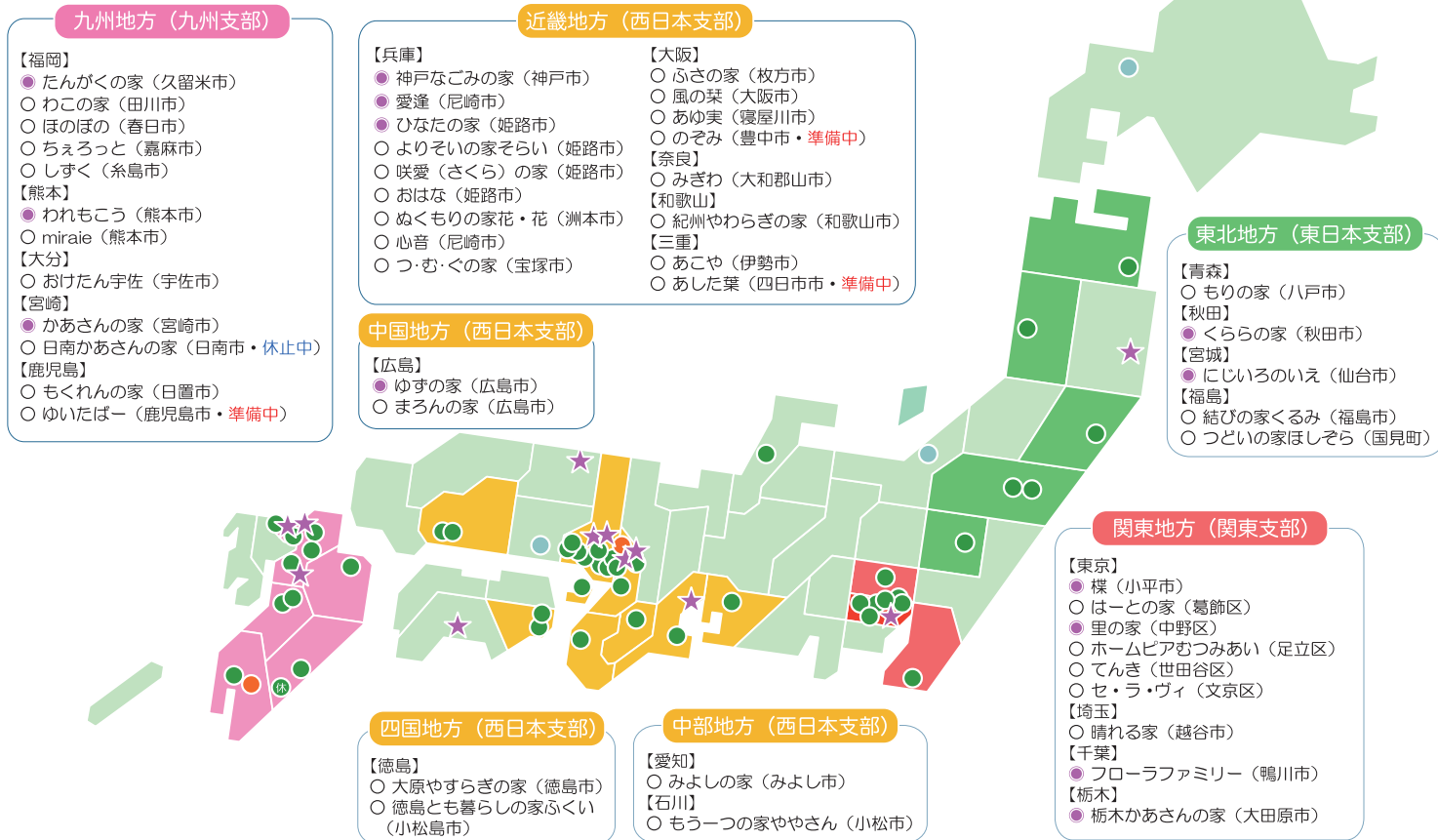
育成塾は、ホームホスピスの「理念の共有」と「ケアの向上」を目指して、実施している研修会です。対象者は、ホームホスピスの運営者、管理者、スタッフ、またホームホスピスに関心があり、近い将来に開設したいと考えている方（ホームホスピスの学校受講者を含む）です。内容は、現場でのケアに役立つ様々な技術を学んだり、実践事例や地域連携を題材にしたワークショップなどを行います。2023年の育成塾は、7月1日、2日の2日間、兵庫県神戸市で開催の予定です。状況によっては、会場とオンラインによるハイブリッド形式になる場合もあります。参加費については、プログラムの内容によっても異なりますが、およそ1日当たり6,000円程度になります。

全国のホームホスピスマップ

2023年1月31日現在

表中の●は、認定ホームホスピス（実習先）です。

- 運営中のホームホスピス（協会正会員）
- 開設準備中（拠点決定）のホームホスピス
- 準備中の「ホームホスピス実践リーダー養成研修」修了者
- ★ 準備中の「ホームホスピスの学校（つくるコース）」修了者
- ホームホスピス®がない都道府県



お問い合わせ先

全国ホームホスピス協会 事務局

〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6

電話：0985-65-8087 FAX：0985-53-6054

Mail：info@homehospice-jp.org HP：https://homehospice-jp.org

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION